

Special Talk in OBU

PR ambassador Takezawa Kyoko

大府小、大府中出身。3歳でバイオリンを始め、小学6年の時には大府市音楽祭で演奏した。1986年第2回インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで圧倒的な優勝を飾り、国際的スターダムにのし上がる。

PR ambassador Mizuno Saki

北山小、愛知淑徳中出身。大学在学中に「高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト」のメンバーとして活動。大府市公式イメージ曲「HABATAKI」「FUN! OBU」の作曲を手掛ける。

PR ambassador Yoshida Hidehiko

共長小出身。中学3年生から東京の講道学舎へ。バルセロナ五輪柔道男子78キロ級で金メダル。アトランタ・シドニー五輪にも出場した。現在はパーク24柔道部総監督を務める。東京五輪で3人の金メダリストを輩出した。

大府市長 岡村秀人 × バイオリニスト 竹澤恭子 × バイオリニスト 水野紗希 × 柔道家 吉田秀彦

自然豊かな思い出の大府

市長 本日はお集まりいただき、ありがとうございます。さっそくですが、大府での思い出などをうかがっていききたいと思います。吉田さんは大石道場のご出身ですね。

吉田 そのころの僕は典型的な悪ガキで、父親に連れられて柔道の道場に通い始めました。だんだん相手の気持ちがわかるようになって、学校でも落ち着いてきましたね。大府にいたのは中学2年までですが、今でも付き合いのある仲間にも出会えました。

竹澤 私がよく覚えているのは中学校の桜並木です。朝はたしかヴィヴァルディの『四季』が流れていて、それを聴きながら登校していました。桜の花びらが舞う様子がきれいでしたね。

市長 大府中学校の桜並木は今も受け継がれています。残していきたい景色のひとつですね。

水野 私が印象に残っているのは、大府駅前のバイオリン教室です。4歳のころから毎週日曜日に、母と一緒に車で通っていたことが思い出になっています。いろいろな習い事をしていましたが、バイオリンだけはやめようと思ったことがなかったですね。

大府を語る特別座談会

大府市のこれまでとこれから。 魅力あふれるふるさとへの想い。

大府市制50周年を記念して、広報大使のみなさんと岡村市長による大府を語る特別座談会を開催。大府での思い出やこれからの希望などをお話いただきました。

大府
スペシャル
トーク



応援してもらった大府のみなさんに、
恩返しの気持ちを持って活動しています。

竹澤 恭子

吉田 オリンピックで金メダルをとったときは、反響の大きさにびっくりしました。大府駅から役所までのパレードに、オープンカーが全然進めないほどの人に集まってもらえて。だから僕が広報大使としてできるのは、大府市出身の金メダリストだということを伝えていくことだと思っています。

竹澤 私はバイオリンが忙しくなった中学生のころ、先生方や周りの友達にすごく応援してもらいました。初めてのコンサートにも同級生がきてくれましたし、大府市のみなさまに育てられたという思いがあります。だから恩返しの気持ちは強くて、機会があれば

ばふるさと・大府の話をしたいと思っています。

水野 大府のぶどうなどはとてもおいしいので、広報大使になる以前からお歳暮やお中元で贈ったりしていました。吉田さんのような金メダリストが輩出されているのはすごいことですし、県外の方にも、もっと大府の魅力を広めていきたいですね。

未来へ残していくレガシー

市長 みなさんにはさらに活躍していただき、大府の子どもたちにはその背中を追って成長してもらいたいと思っています。

竹澤 クラシック音楽はどうしても難しく思われがちですが、子どもたちや若い人が音楽に触れる機会を作ってほしいですね。私は今、大府の各中学校で生の音楽を聴いてもらうイベントを行っています。夢としては、大府市発信の音楽祭のようなものが開けたらと思っています。

水野 そうですね、私も音楽祭については考えていました。海外だとピクニックのような感じで、芝生でビールなどを飲みながら聴くクラシックのコンサートもあります。もっと気軽にクラシック

を楽しめる機会があればいいですね。

吉田 気軽に楽しめるという意味では、パーク24では小学生を対象に無料の柔道教室をやっています。子どもたちが柔道に触れる機会を少しでも増やして、裾野を広げていきたいですね。また体を動かす機会にもなると思うので、運動習慣を身につけるきっかけにもなるとうれしいです。

市長 大府市は先人たちのおかげで、本当に住みよい街になっています。そういった財産を大切にしながら、新たなレガシーを作っていかなければいけませんね。本日はありがとうございました。

自然のなかで気軽に楽しめる音楽祭
などができたら、すてきですね。

水野 紗希



座談会の模様を動画でチェック



柔道を通して、大府が金メダルのまち、
健康都市であることを伝えていきたい。

吉田 秀彦



市長 スズキ・メソッドの教室ですね。スズキ・メソッドを創始した鈴木鎮一氏の父親の鈴木政吉氏は、大府市にバイオリン工場を建てて研究などをされていました。そのなかで竹澤さんや水野さんのようなバイオリニストが誕生したことに縁の深さを感じます。

吉田 子ども時代を思い返すと、今より自然が多かったですね。僕は裏山のたけのこを全部掘ってしまったり、悪さもいっぱいしましたが、自然の中で身体が鍛えられたと感じています。

竹澤 確かに以前と比べるとまちは様変わりしましたね。私が住んでいたところでも畑が宅地にな

るところがたくさんあって、人が増えていくのを感じました。

市長 大府市の人口は今も緩やかに増加しています。それでもぶどうなどの農作物や、大きな公園があり、自然も多く残るバランスのとれた街になっていると思います。

竹澤 公園はよく整備されていますよね。私の母はあいち健康の森公園でウォーキングをしているみたいですし、地産のものを売っているげんきの郷にも買い物に行っています。

水野 あいち健康の森公園は私も帰省したときに行くことがあります。友達からも休みの日などに子どもを連れて行くという話を聞きます。名古屋からも行くみたいですよ。

伝えていきたい大府の魅力

市長 健康ということでは、スポーツは体の健康につながります。その中で吉田さんをはじめ、オリンピックで活躍する選手がたくさんいます。また芸術面では竹澤さんがいらっちゃって、水野さんが続いてきた。みなさんは広報大使として、市民の夢と希望の星になつてくださっています。